

# 2022年12月期 第2四半期決算説明会

2022年8月19日

株式会社ナカニシ

## 免責事項

資料に記載されている情報には、将来の業績に関する見通しが含まれています。これら見通しには不確定要素が含まれており、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は、世界経済の変化や為替相場の変動等により、予想数値とは異なる場合があります。予めご了承下さい。

## 当期から報告セグメントを変更

主な変更点

1. 「歯科製品関連事業」に包含していた「外科事業」を分離・独立
2. 「その他事業(主に修理サービス)」を廃止、各セグメントに合算

### 旧セグメント

#### 歯科製品関連事業

Dental Products

#### 工業製品関連事業

Industrial Products

#### その他事業

Others

### 新セグメント（2022年12月期から）

歯科事業  
Dental Business

改称

補綴歯科治療・歯周病治療・訪問歯科治療・インプラント治療など、広範な歯科治療をカバーする歯科治療機器の開発・製造・販売

外科事業  
Surgical Business

新設

脳神経外科・脊椎脊髄外科・整形外科などの分野で使用される骨切削ドリルの開発・製造・販売

機工事業  
Industrial Business

改称

自動車・航空機・精密機器等、幅広い産業の超微細・精密加工で使用するモーター・スピンドル等の開発・製造・販売

(廃止)

歯科事業 Dental Business

Ti-Max Z Series (歯科用ハンドピース)



Surgic Pro2 (インプラントモーター)



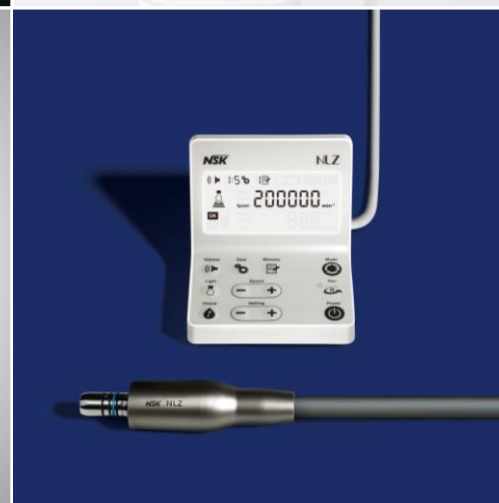
END-MATE DT2 (エンドモーター)



Varios Combi Pro (超音波スケーラー&パウダー)



iClave mini2 (オートクレーブ)



NLZ (歯科用マイクロモーター)



VIVAace (訪問歯科用ユニット)

外科事業 Surgical Business

Primado2コンソール (外科用電動式ドリル)



アタッチメント



ディスク

機工事業 Industrial Business

E4000シリーズ (工業用モーター&スピンドル)



EmaxEVOlution (電動式ハンドグラインダー)



E3000シリーズ (工業用モーター&スピンドル)



シーナスZERO (超音波式研磨機)

<b>2022年12月期第2四半期 連結決算概要</b>	<b>P. 6</b>
<b>2022年12月期 連結業績予想・配当予想</b>	<b>P. 17</b>
<b>中期経営計画ローリングプラン「NV2025+」</b>	<b>P. 20</b>
<b>各事業の概況と今後の施策</b>	<b>P. 25</b>

2022年12月期 第2四半期  
**連結決算概要**

- **主要な取引通貨に対する円安進行が売上・利益をかさ上げ。為替影響を除外した場合の売上高は、前年同期並みの水準。**
- **機動的な部品買付・仕様変更対応で、上半期の生産活動では致命的な口スを回避。部品調達は予断を許さない状況が続く。**
- **世界的な需要増に対応すべく、生産能力の増強施策を遂行中。9/5に竣工予定の新工場「A1+」の早期立ち上げを目指す。**

百万円

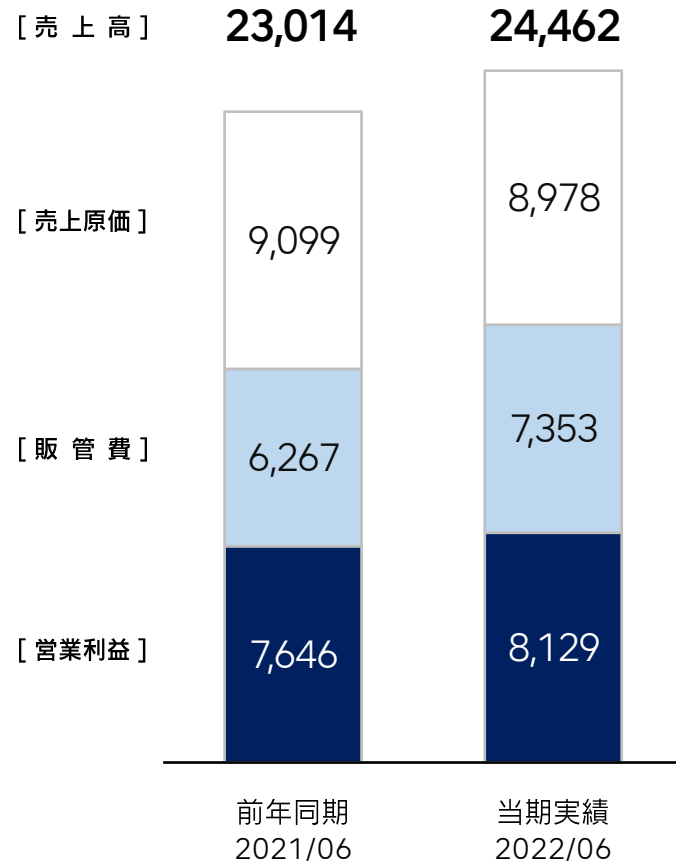
	当期実績 2022/06	前年同期 2021/06	前年同期比	業績予想 2022/06	業績予想比
売上高	24,462	23,014	+ 6.3 %	23,026	+ 6.2 %
売上総利益	15,483	13,914	+ 11.3 %	13,917	+ 11.3 %
利益率	63.3 %	60.5 %	+ 2.8 pt	60.4 %	+ 2.9 pt
営業利益	8,129	7,646	+ 6.3 %	6,546	+ 24.2 %
利益率	33.2 %	33.2 %	+ 0.0 pt	28.4 %	+ 4.8 pt
経常利益	9,490	7,423	+ 27.8 %	7,095	+ 33.7 %
利益率	38.8 %	32.3 %	+ 6.5 pt	30.8 %	+ 8.0 pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,750	5,366	+ 25.8 %	5,062	+ 33.4 %
利益率	27.6 %	23.3 %	+ 4.3 pt	22.0 %	+ 5.6 pt
E P S (円)	78.52	61.93	—	58.75	—
為替レート					
- 米ドル (円)	123.16	107.74	+ 15.42 (円安)	124.00	- 0.84 (円高)
- ユーロ (円)	134.50	129.96	+ 4.54 (円安)	131.00	+ 3.50 (円安)

- ・ 為替影響額： 売上高 +1,290百万円（前年同期レート比），+232百万円（業績予想レート比）
- ・ 為替感応度： 1円円安による年間売上高の変動 米ドル 86百万円増，ユーロ 78百万円増



百万円

実績金額



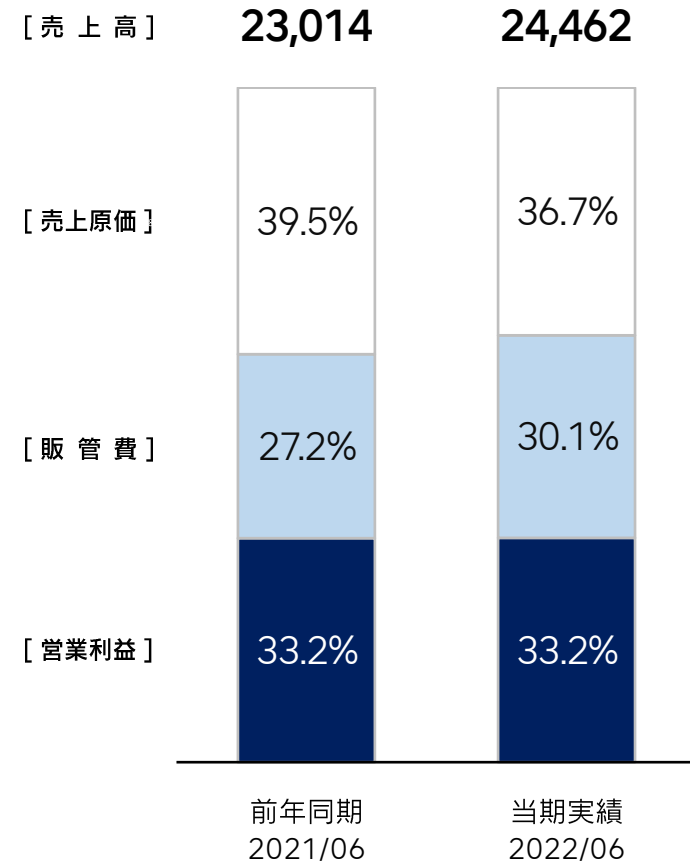
売上高  
前年同期比  
+1,447  
+6.3%

為替影響を除くと  
前年同期並み

営業利益  
前年同期比  
+482  
+6.3%

円安効果で  
利益かさ上げ

構成比率



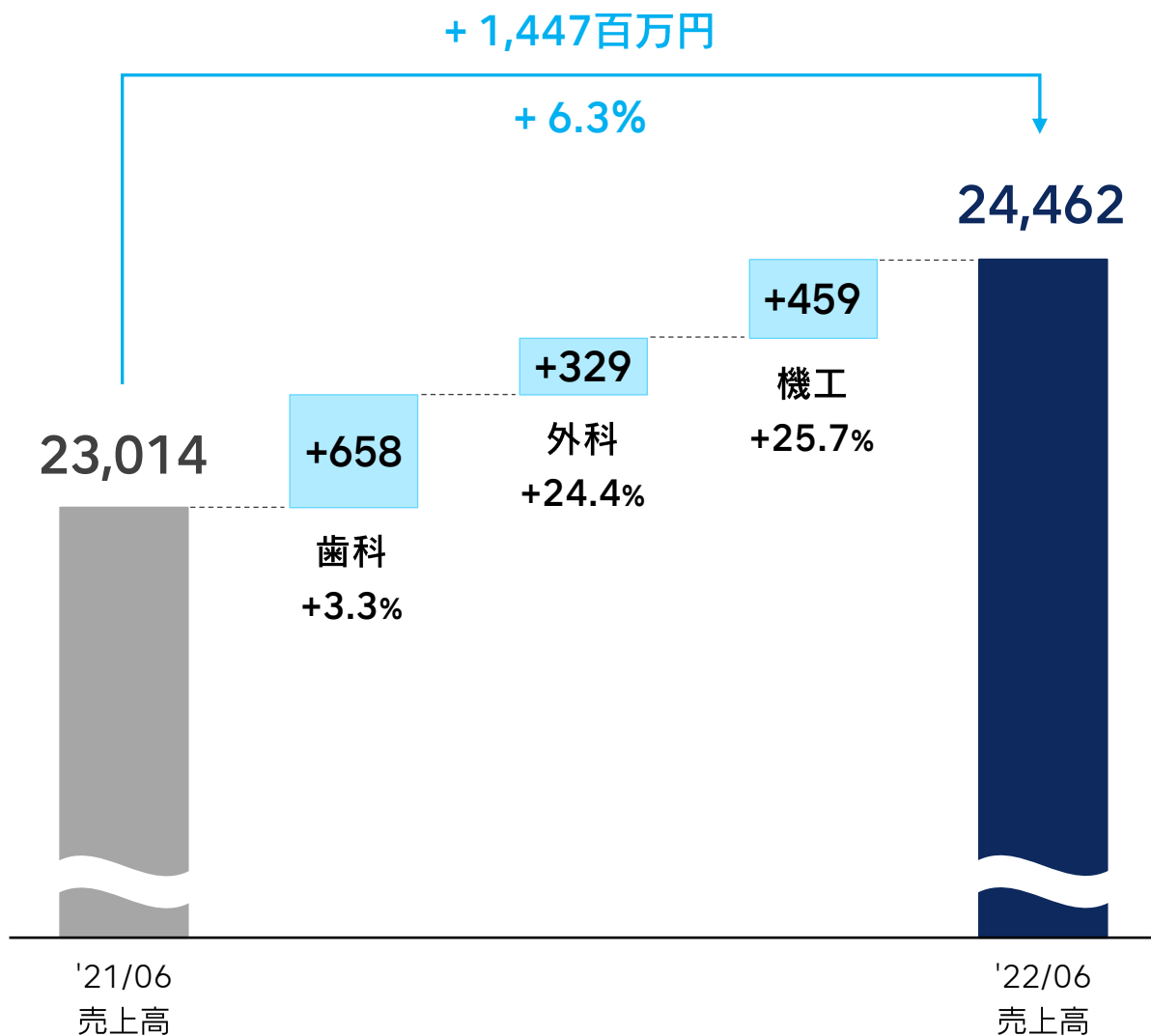
原価比率  
前年同期比  
-2.8 pt

部品調達価格の高騰を  
円安進行でオフセット

販管費比率  
前年同期比  
+2.8 pt

営業活動の再開で  
販管費率が正常化

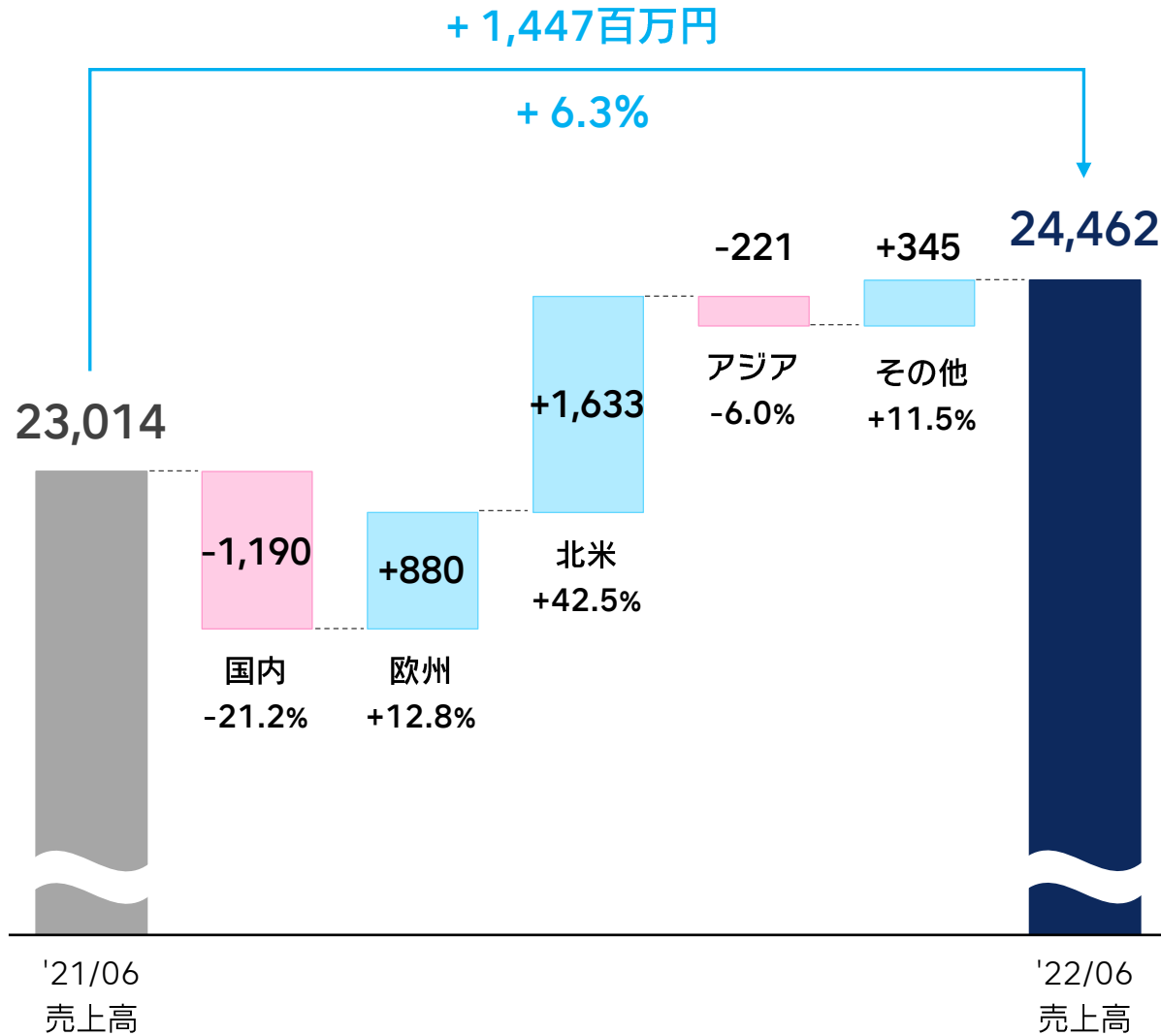
百万円



	前年同期 2021/06	当期実績 2022/06	増減
歯科事業	19,872	20,530	+3.3%
外科事業	1,351	1,681	+24.4%
機工事業	1,790	2,250	+25.7%
合 計	23,014	24,462	+6.3%

為替影響額 +1,290百万円 (+5.6%)

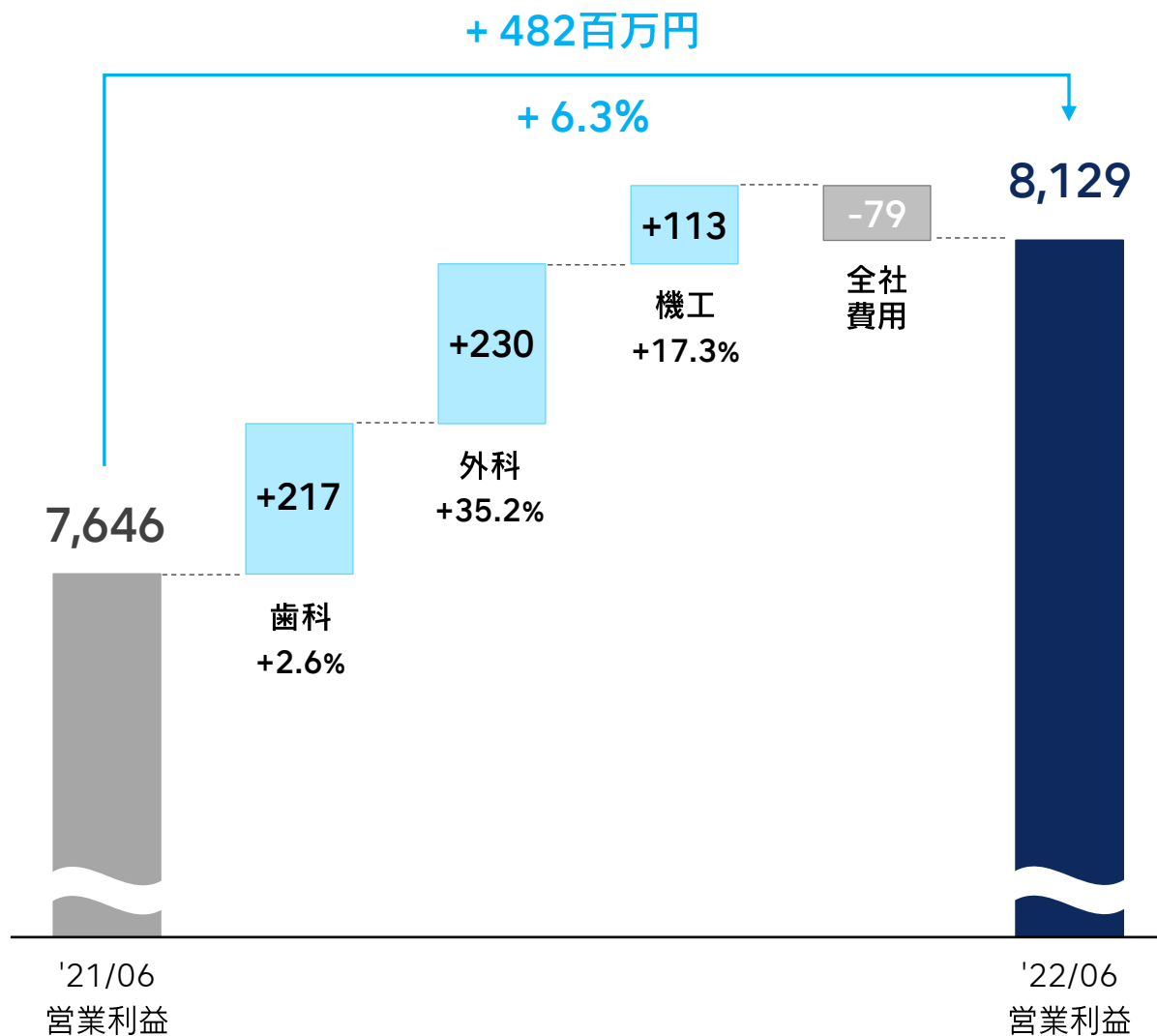
百万円



	前年同期 2021/06	当期実績 2022/06	増減
国内	5,606	4,416	-21.2%
欧州	6,859	7,740	+12.8%
北米	3,839	5,473	+42.5%
アジア	3,697	3,475	-6.0%
その他	3,010	3,355	+11.5%
<b>合計</b>	<b>23,014</b>	<b>24,462</b>	<b>+6.3%</b>

**為替影響額 +1,290百万円 (+5.6%)**

百万円

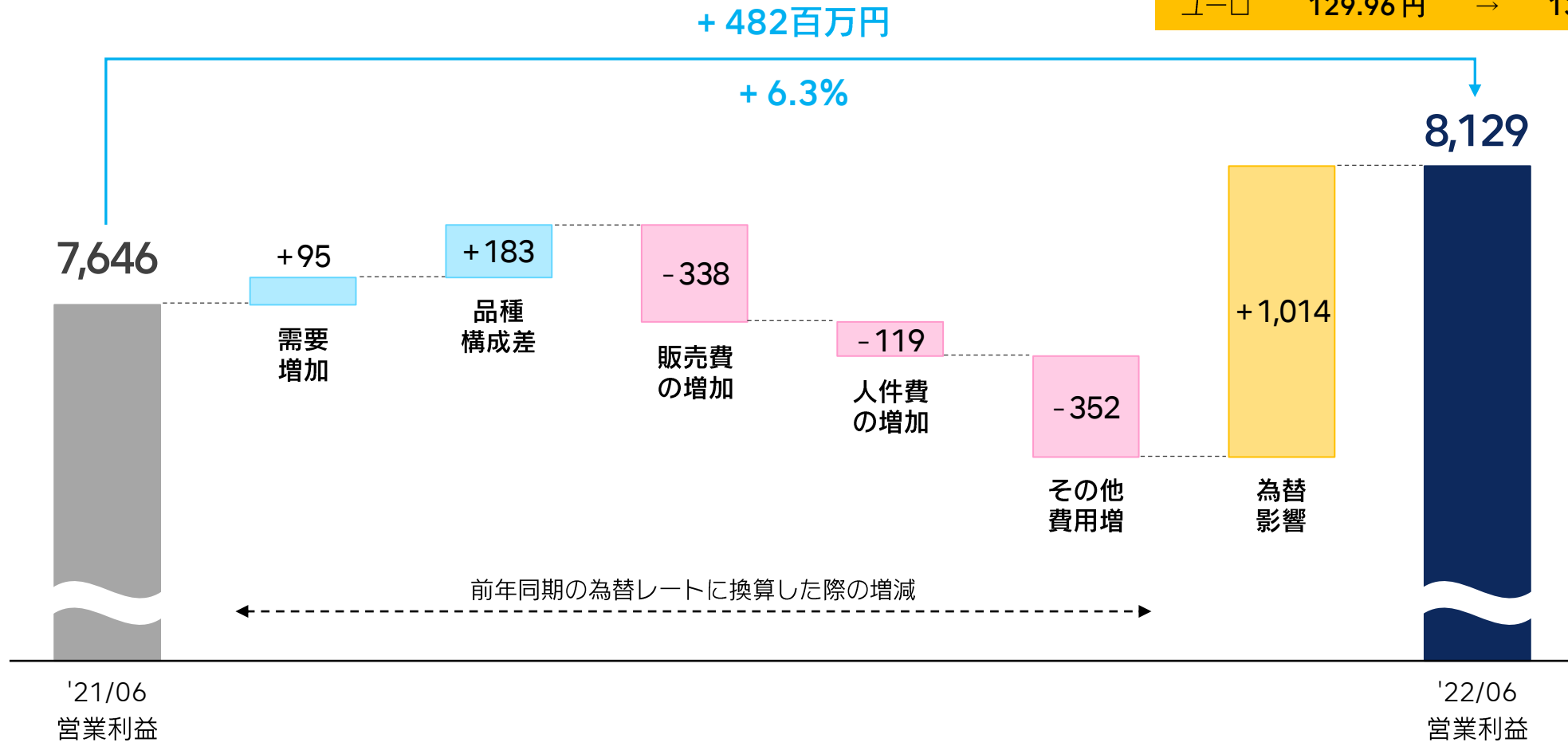


	前年同期 2021/06	当期実績 2022/06	増減
歯科事業	8,452	8,669	+2.6%
外科事業	654	885	+35.2%
機工事業	660	774	+17.3%
全社共通	-2,120	-2,199	-
合計	7,646	8,129	+6.3%

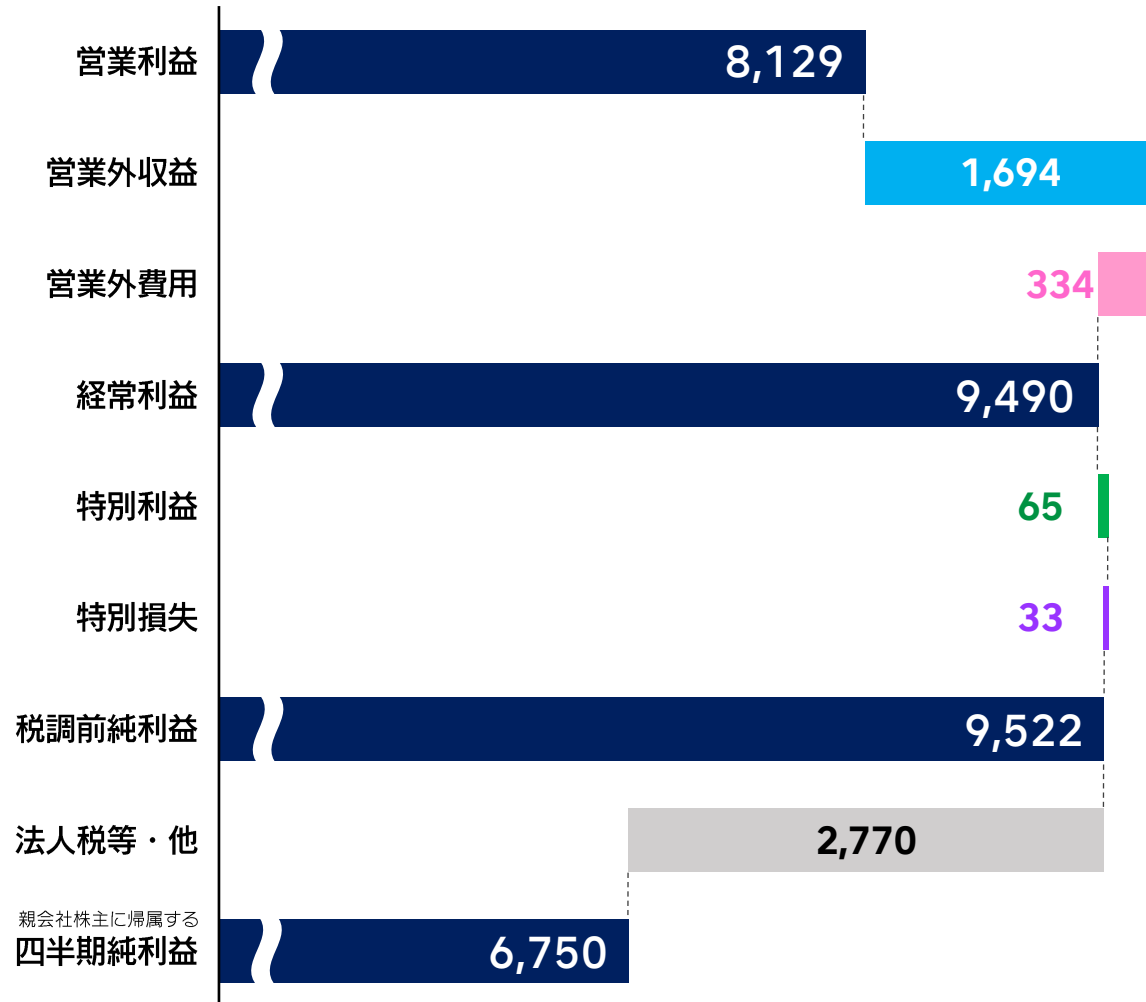
為替影響額 +1,014百万円 (+13.3%)

百万円

平均為替レート		
	2021/06	2022/06
米ドル	107.74 円	→ 123.16 円
ユーロ	129.96 円	→ 134.50 円



百万円



営業外収益	・ 為替差益	1480
営業外費用	・ 金銭の信託運用損	248
特別利益	・ 固定資産売却益	65
特別損失	・ 固定資産売却損	31

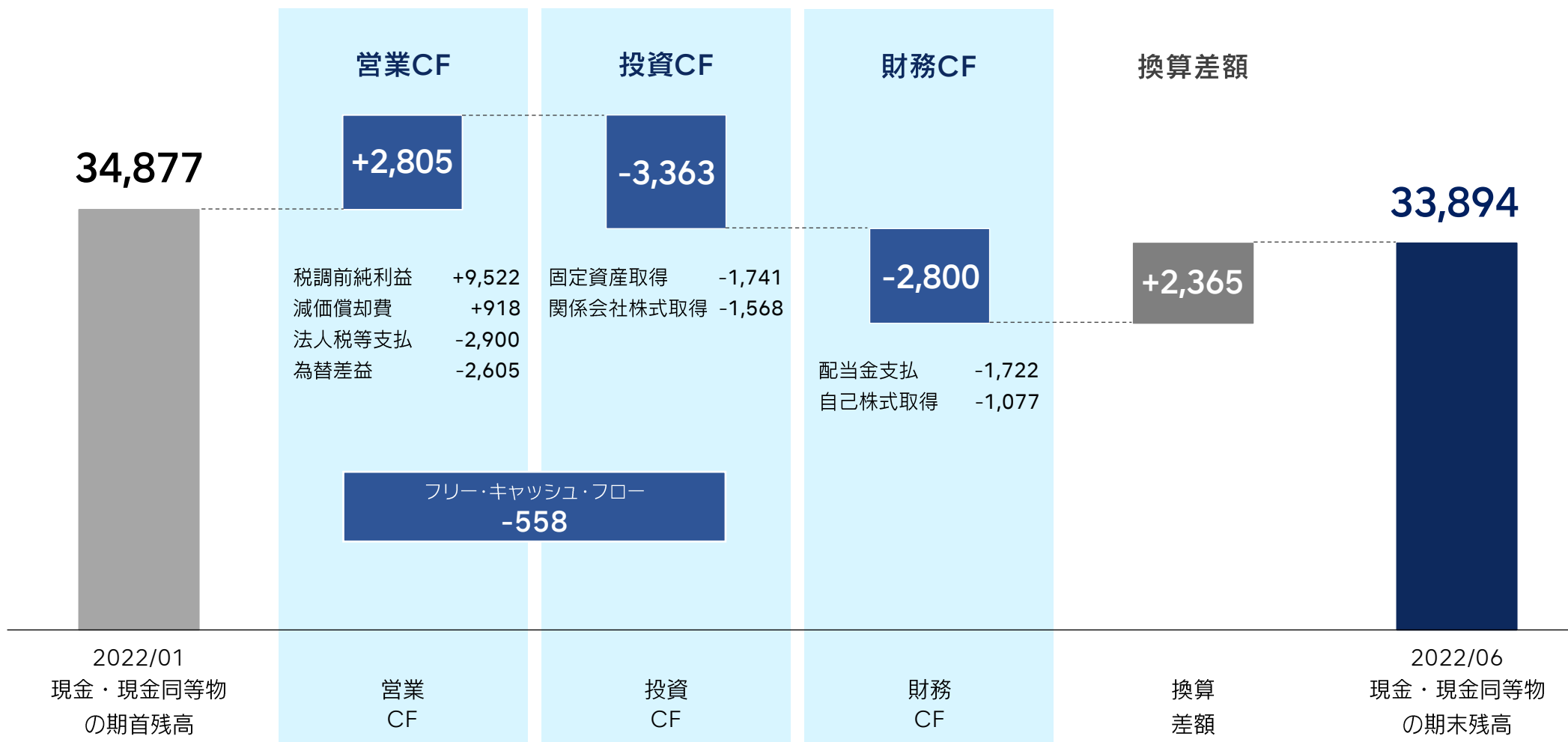
百万円

	当期末 2022/06	前期末 2021/12	増減額	主な増減内容
<b>総資産</b>	<b>98,914</b>	<b>94,460</b>	+4,453	・現金及び預金 -15 ・建設仮勘定 +844
- 受取手形及び売掛金	6,284	5,348	+936	
- 棚卸資産	13,232	11,733	+1,499	・商品および製品 +95 ・仕掛品 +476 ・原材料および貯蔵品 +926
<b>負債</b>	<b>9,748</b>	<b>11,541</b>	-1,792	・買掛金 +403 ・賞与引当金 -471 ・その他 -1,747
- 有利子負債	100	100	—	
<b>純資産</b>	<b>89,165</b>	<b>82,919</b>	+6,245	
- 利益剰余金	89,792	84,765	+5,027	
自己資本当期純利益率 (ROE)	11.2 %	12.7 %	-1.5 pt	
総資産経常利益率 (ROA)	13.9 %	15.8 %	-1.9 pt	

\* ROE・ROA は当期業績予想に基づき算出

	当期実績 2022/06	前年同期 2021/06	増減額	主な内容
<b>設備投資額</b>	<b>1,701</b>	<b>575</b>	+1,126	・新工場「A1+」関連 625 ・IT 関連 239
<b>減価償却費</b>	<b>918</b>	<b>853</b>	+65	

百万円





# 2022年12月期 連結業績予想・配当予想

百万円

	2021/12 前年実績	2022/12 業績予想	増減額	増減率	説明
売上高	44,857	45,788	+931	+2.1 %	
売上総利益	27,295	27,723	+428	+1.6 %	
利益率	60.8 %	60.5 %	-0.3 pt	-	
営業利益	13,750	12,606	-1,143	-8.3 %	
利益率	30.7 %	27.5 %	-3.1 pt	-	
経常利益	13,951	13,587	-364	-2.6 %	
利益率	31.1 %	29.7 %	-1.4 pt	-	
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,102	9,621	-481	-4.8 %	
利益率	22.5 %	21.0 %	-1.5 pt	-	
E P S (円)	116.73	111.66	-	-	
為替レート					
- 米ドル (円)	109.84	124.00	+14.16 (円安)	-	
- ユーロ (円)	130.08	131.00	+0.92 (円安)	-	

## 株主還元方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと位置付け、事業基盤の強化や成長領域への投資を適正かつ積極的に推進しつつ、株主様への利益還元をバランスよく行ってまいります。将来の成長投資に必要な内部留保を考慮した上で**中期的な利益還元基準を総還元性向50%**とし、**機動的な自己株式の取得**と**安定的かつ継続的な増配**に努めてまいります。

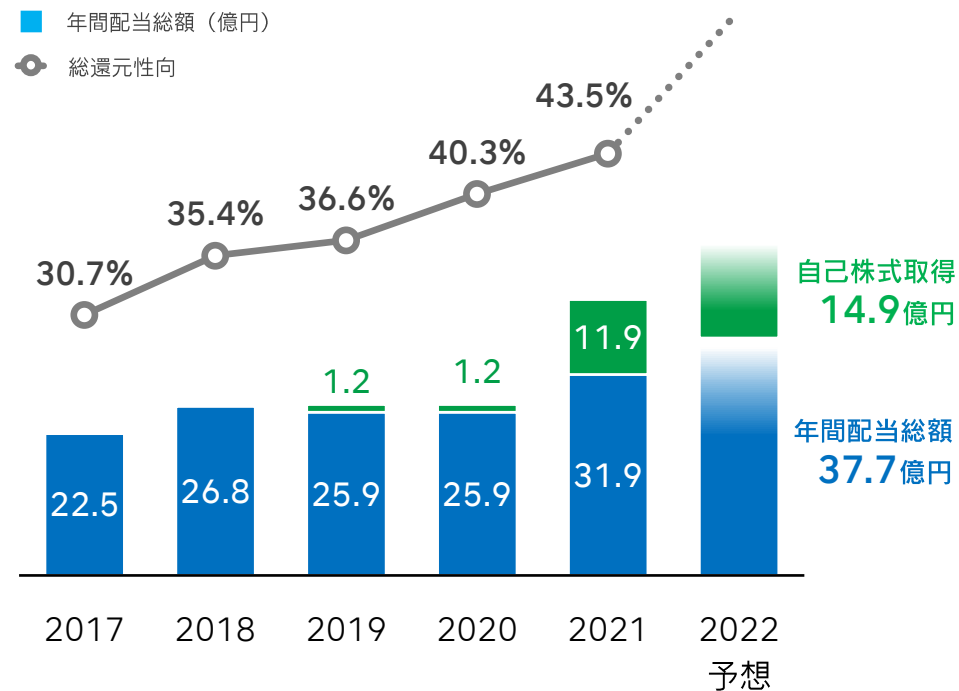
## 株主還元推移

\* 2018/04 株式分割(1:3)

■ 自己株式取得総額（億円）

■ 年間配当総額（億円）

○ 総還元性向



		2017 実績	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021 実績	2022 予想
年間配当金	(円)	26.00	31.00	30.00	30.00	37.00	44.00
配当性向(連結)	(%)	30.7	35.4	36.6	40.3	31.7	39.2
総還元性向(連結)	(%)	30.7	35.4	36.6	40.3	43.5	-

参考：直近の自己株式取得状況

		2022/02	2022/03	2022/05	2022/06	2022/07
取得株式数	(株)	87,900	153,700	92,200	145,500	92,200
取得価額	(百万円)	179	320	213	363	222

中期経営計画 ローリングプラン

**NV2025+**

コロナ禍以降、世界シェアがさらに拡大 ▶ **直近業績が計画線以上に伸長**  
ほぼすべての取引通貨に対して円安進行 ▶ **収益目標の前提が大きく変動**



中計ローリングプラン

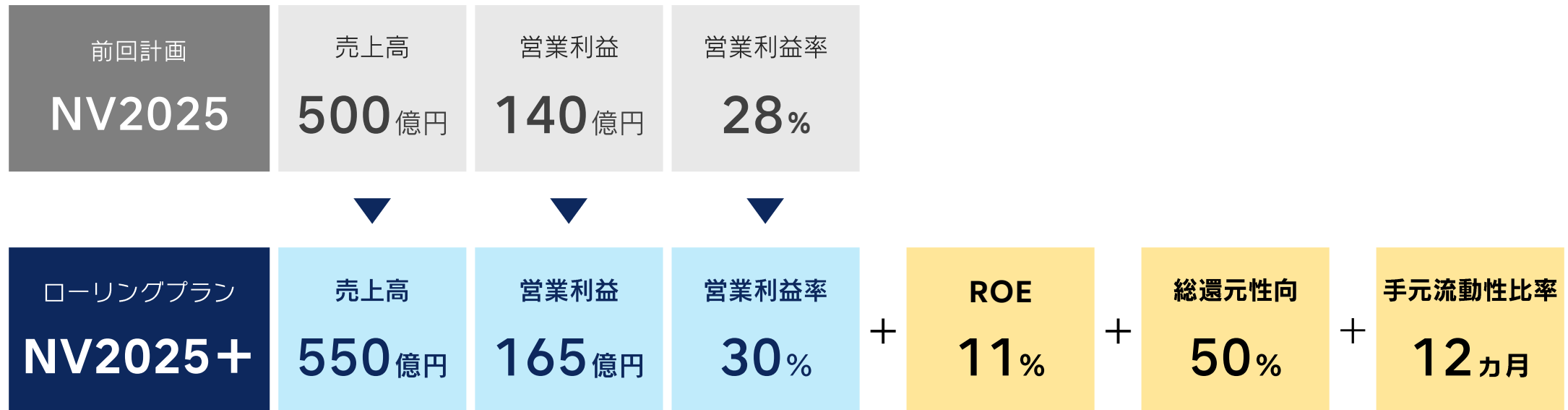
## NV2025+

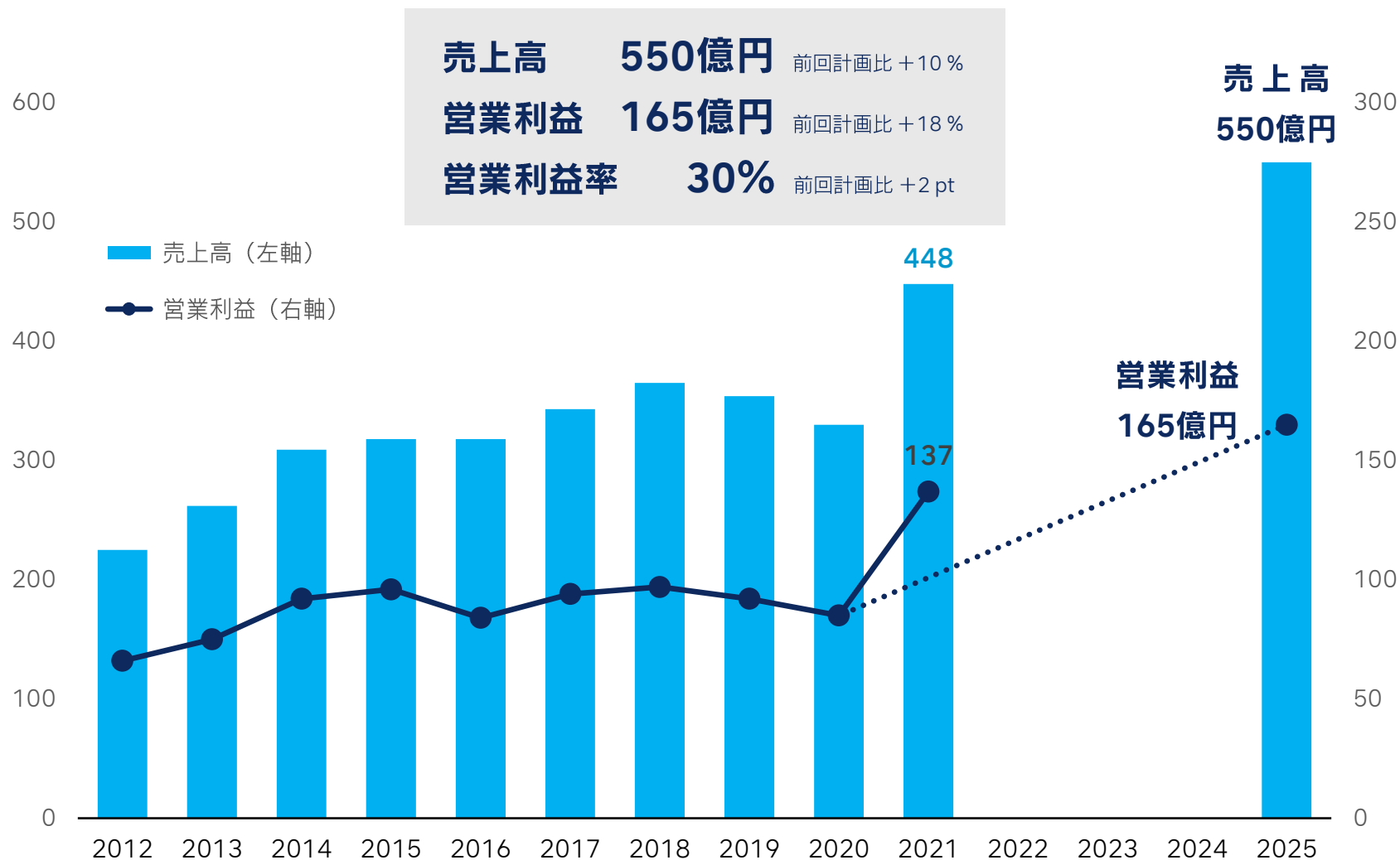
1. 方針・戦略は前回計画「NV2025」から変更なし
2. 直近業績・為替をふまえ収益目標をアップデート
3. ROE・キャッシュアロケーション等のKPIを新設

ローリングプラン「NV2025+」策定においては、前回計画「NV2025」の収益目標の更新に加え「資本効率指標」「キャッシュアロケーション指標」を設定。PL・BS・CFS マネジメント方針を明確化

▶ PL経営から資本効率も重視した経営へ進化

▶ 成長投資・株主還元・リスク耐性のバランスを考慮したキャッシュアロケーション



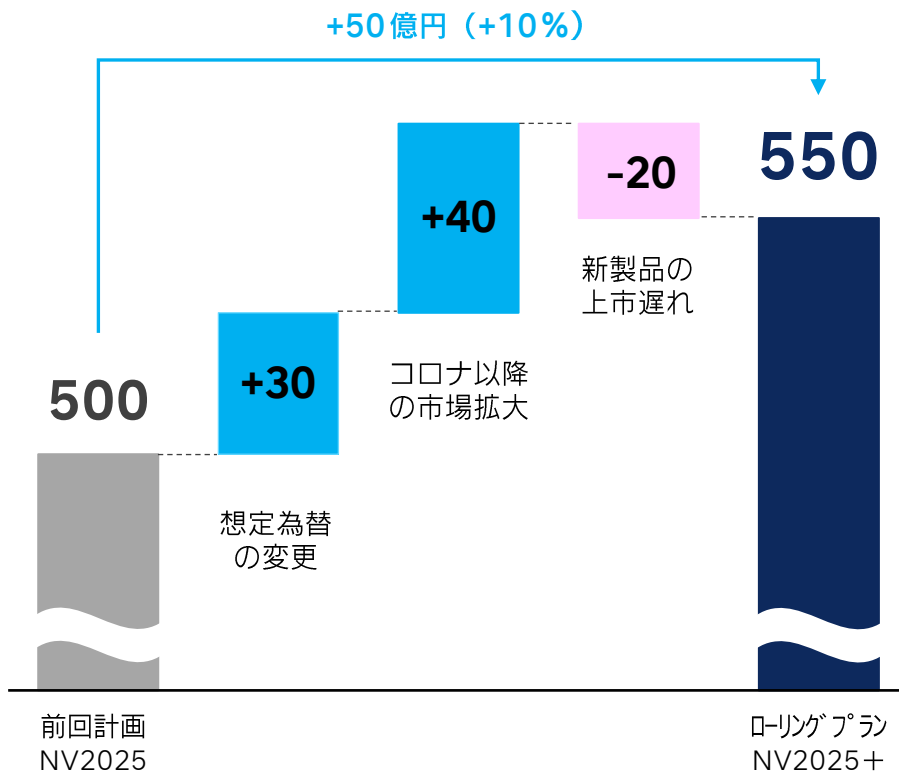


2022-25年想定為替レート： 1USD = 124円 1EURO = 131円

## トップラインの変動要因

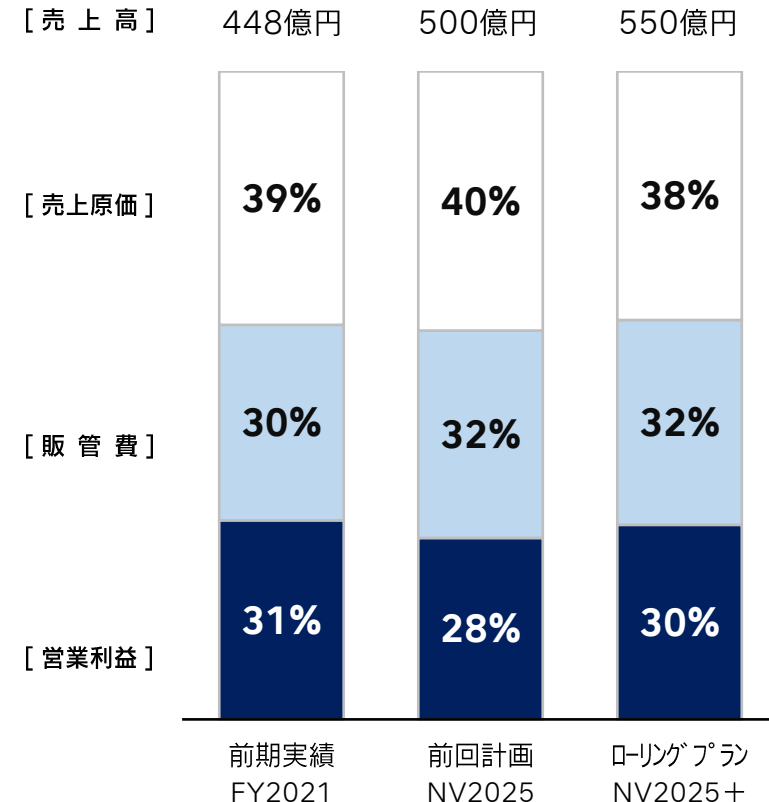
- 売上前提となる想定為替レートの見直し
- コロナ禍以降の市場規模拡大を織り込み
- 新製品の開発遅延に伴う影響を織り込み

\* 医療機器規制 (MDR) 対応や部品調達難による生産停止回避に向けた設計変更等を優先したため、新製品開発に影響あり



## 収益構造の変動要因

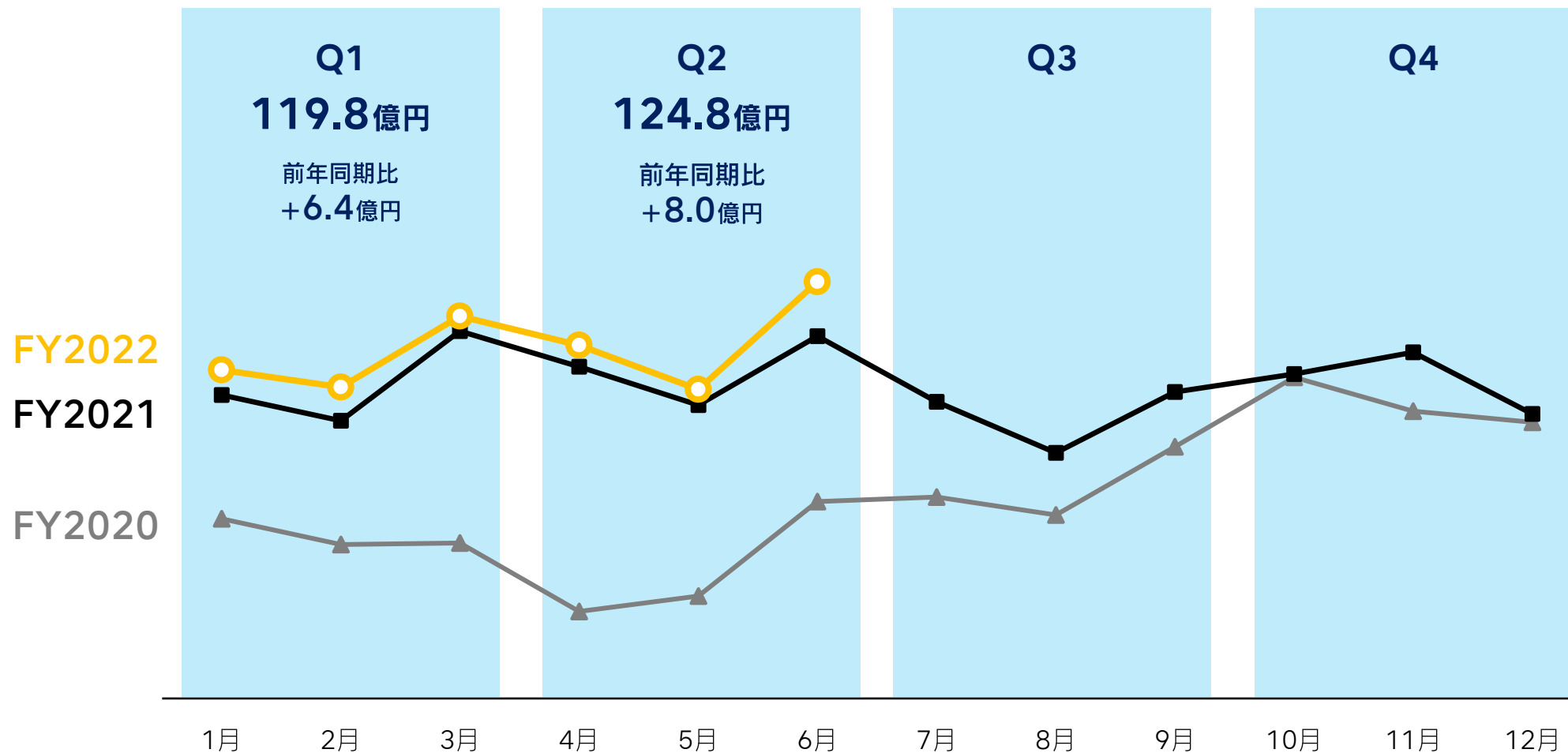
- 収益構造 (構成比率) に大きな変更なし
- 売上拡大効果および円安効果を織り込み





# 各事業の概況と今後の施策

## 為替影響を除外すると、売上高は前年同期並みに推移





**欧州** 77.4億円

YoY +8.8億円 (+12.8%)

歯科↗ 外科↗ 機工↗

**北米** 54.7億円

YoY +16.3億円 (+42.5%)

歯科↗ 外科↗ 機工↗

**国内** 44.1億円

YoY -11.9億円 (-21.2%)

歯科↘ 外科↗ 機工↗

**アジア** 34.7億円

YoY -2.2億円 (-6.0%)

歯科↘ 外科↘ 機工→

南米・中近東・ロシア・オセアニア

**その他** 33.5億円

YoY +3.4億円 (+11.5%)

歯科↗ 外科→ 機工↘

直近の業績動向・為替動向をふまえ、中計ローリングプランを策定

中計ローリングプラン  
**NV2025+**

基本方針と重点施策

1. デンタル事業のグローバル市場における戦略的拡大
2. 超高齢化のニーズに応える新規事業育成
3. スピーディな開発とダントツのコスト競争力を実現する経営基盤づくり

**2022年度の進捗**

1. 上半期業績が過去最高を更新
2. 米国市場で大幅増収・シェア拡大
3. 新工場「A1+」が9/5に竣工
4. 新工場「M1」の建設決定

コロナ禍を好機に変え、事業規模拡大。生産増強に向けた施策を推進



# A1+

## 新しい部品加工工場

世界的に高まる製品需要に的確に対応できる生産体制にシフトする為  
ボトルネックとなっている「部品加工」のキャパシティアップを図る

- 所在地 栃木県鹿沼市深程990（A1工場敷地内）
- 延床面積 約5,500平米
- 投資金額 約18億円

## 9月5日竣工予定



# M1

## 新しい組立工場 & 部品・完成品倉庫

増強施策を進めている部品加工の後工程「組立工程」の能力アップと生産規模拡大に応じた倉庫スペース確保を目指し新工場の建設を決定

- 所在地 栃木県鹿沼市下日向700（本社敷地内）
- 延床面積 約17,500平米
- 投資金額 約62億円
- 着工時期 2023年4月（予定）
- 操業開始 第1期 2024年3月（予定）  
第2期 2024年12月（予定）

## 2022年市場動向の予測

- 需要サイド -

コロナ禍以降、世界的な需要増加が続く





- 供給サイド -

半導体・電子部品等の調達難が継続





## 2022年基本戦略（改訂）









世界的に旺盛な需要を最大限取り込むべく、生産の最大化を図る

- ▶ 機動的な部品調達・設計変更で減産回避
- ▶ 新工場「A1+」の早期立ち上げを目指す

		上半期の状況	下半期の見通し	
欧州	販売の 動向   YoY	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 主力の歯科用ハンドピースやインプラントモーターが堅調に推移。</li> <li>▪ 歯科大学を攻略した英国では引き続き販売好調。</li> <li>▪ 北欧拠点 NSK Dental Nordic のビジネス立ち上がりは順調。</li> </ul>	販売の 見通し   YoY	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 歯科用ハンドピースやインプラントモーターを拡販。</li> <li>▪ NSK Dental Nordic の営業活動を本格化。大幅増収を狙う。</li> </ul>
国内	販売の 動向   YoY	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 前年3月の政府助成金終了により需要一巡し、販売は大幅減少。</li> <li>▪ OEMビジネスは引き続き堅調。</li> </ul>	販売の 見通し   YoY	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 需要反動減のフェーズを抜け、販売復調を見込む。</li> <li>▪ 歯科用ハンドピースやインプラントモーターを拡販。</li> </ul>



		上半期の状況	下半期の見通し
北米	販売の 動向   YoY	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 主力の歯科用ハンドピースやマイクロモーターが伸長し、大幅増収。</li> <li>▪ O E M販売も堅調で増収に寄与。</li> </ul>	販売の 見通し   YoY <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 景気後退が懸念されるが当社の製品優位性が高いコントラやマイクロモーターを拡販。</li> <li>▪ 歯科大学やDSOへのアプローチを継続。</li> </ul>
アジア	販売の 動向   YoY	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 中国ではロックダウンによって約2.5カ月にわたり製品出荷が停止したことが響き、販売減少。</li> <li>▪ 韓国向けの販売は前年同期並み。</li> <li>▪ 東南アジア向けの販売が復調。</li> </ul>	販売の 見通し   YoY <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ロックダウン解除を受けて中国需要は正常化。業績のキャッチアップを目指す。バイチャイナ対応に着手。</li> <li>▪ 韓国や東南アジア諸国への販売はやや落ち込む見込み。</li> </ul>

	上半期の状況		下半期の見通し	
中近東	販売の 動向  YoY	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ コロナ禍からのリバウンド需要を着実に取り込み、販売伸長。</li> </ul>	販売の 見通し  YoY	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 政府系病院・大学病院等活発化してきている入札案件への対応継続。</li> </ul>
南米	販売の 動向  YoY	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 競合他社の南米事業撤退もあり販売好調。市場シェアが拡大。</li> </ul>	販売の 見通し  YoY	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 主力製品の歯科用ハンドピースやインプラントモーターを拡販。</li> </ul>
ロシア	販売の 動向  YoY	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ウクライナ侵攻によりロシアやCIS諸国への販売は大幅減。</li> </ul>	販売の 見通し  YoY	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ウクライナ侵攻の長期化でロジスティクスの遅延等の混乱が当面続くと想定。</li> </ul>
豪州	販売の 動向  YoY	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 豪州およびオセアニア諸国への販売は堅調に推移。</li> </ul>	販売の 見通し  YoY	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 需要平準化する想定のもと歯科用ハンドピースやインプラントモーターを拡販。</li> </ul>

## 世界各地で再開されている歯科展示会に出展



2022/01/27～

**Yankee Dental  
Congress**  
(米国)

2022/03/17～

**ADX Sydney**  
(オーストラリア)

2022/02/01～

**AEEDC Dubai**  
(アラブ首長国連邦)

2022/05/19～

**Expodental  
Meeting Rimini**  
(イタリア)

## 上半期の状況

需要回復期にあわせて行った営業活動・販促キャンペーンが奏功し、販売伸長

YoY	↗	<b>国内</b>	従来からの脳神経外科に加え、脊椎外科への営業活動が奏功し、販売伸長。
YoY	↗	<b>欧州</b>	既存顧客の更新案件や欧州基幹病院の大型案件を順調に獲得、販売伸長。
YoY	↗	<b>北米</b>	当社製品「Primado2」の評価は高く、他社協業も相まって大幅増収を達成。
YoY	↘	<b>アジア</b>	期首は順調な立ち上がりだったが、中国ロックダウンの影響で販売減に。

## 下半期の見通し

新製品「P300AT」北米展開を本格化。販路拡大に向けた施策を推進

YoY	↘	<b>国内</b>	耳科領域への販促活動を加速し、顧客基盤のさらなる拡充を図る。
YoY	↘	<b>欧州</b>	基幹病院への営業アプローチを継続し、大型引き合い案件の獲得に注力。
YoY	↗	<b>北米</b>	新製品「P300AT」の拡販および他社協業による販路拡大に注力。
YoY	↗	<b>アジア</b>	中国のロックダウン解除・アジア各国の移動制限解除で販促活動を加速。

## 国内外で再開した学会やハンズオンで顧客接点を強化



第42回日本脳神経外科コンgres総会 ハンズオン



コンソール

Primado2

脳神経外科・整形外科・脊椎外科等  
で使用される電動式骨切削ドリル

アタッチメント「P300AT」



ディスポ「クワッドエッジバー」

「Primado2」シリーズ製品群

## 上半期の状況

世界的な需要増を背景に最大限取り込んできた受注案件をこなした結果、大幅増収を達成

YoY ↗	<b>国内</b>	バリ取り・穴あけ・基板分割等、精密加工分野へのスピンドル販売が順調に推移。
YoY ↗	<b>欧州</b>	前年からの受注案件をこなし販売伸長。再開した展示会での引き合いも旺盛。
YoY ↗	<b>北米</b>	設備投資意欲は引き続き旺盛で、スピンドルを中心に販売が大幅に伸長。
YoY →	<b>アジア</b>	需要活発ながらも、部品不足でコントローラーの生産追い付かず、売上横ばい。

## 下半期の見通し

堅調な設備投資需要を最大限に取り込みつつ、受注案件の納品に向けた生産努力を継続

YoY →	<b>国内</b>	幅広い産業分野からの引き合い旺盛で、他社協業を含めて案件獲得に注力。
YoY →	<b>欧州</b>	需要一服の兆しあり、アプリケーション事例の訴求で需要掘り起こしを図る。
YoY ↗	<b>北米</b>	強固な事業基盤の確立に向け、現地法人の販売体制強化と代理店網拡充を推進。
YoY ↗	<b>アジア</b>	旺盛な設備投資案件の着実な取り込みを図りつつ、代理店網の整備を継続。

2022/06/22～24 東京ビックサイト

## 日本ものづくりワールド2022に出展



3年ぶりとなる大規模展示会への出展。メイン通路に面したブース出展でプレゼンス向上。



この度「サステナビリティレポート2022」を  
発刊しました。当社のESGに関する取り組みを  
紹介しておりますので、ご覧頂ければ幸いです。

<https://www.nakanishi-inc.jp/sustainability/report/>



***NSK***